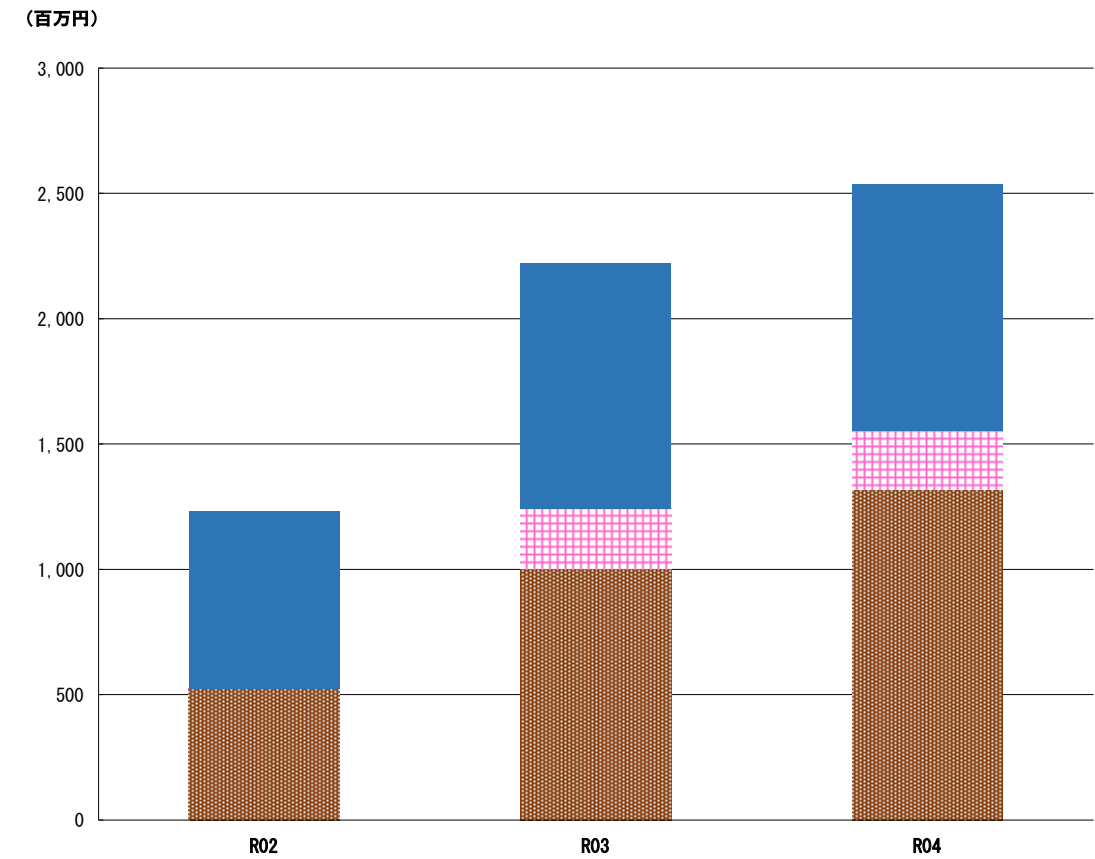


(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）



		(百万円)		
区分	年度	R02	R03	R04
財政調整基金		523	1,004	1,318
減債基金		3	237	237
その他特定目的基金	その他特定目的基金	706	978	983
	ふるさと笠岡思民基金	225	354	262
	公共施設整備引当基金	111	144	203
	退職手当準備基金	66	174	194
	藤井育英会奨学基金	69	68	68
	中山間ふるさと・水と土保全対策事業基金	50	46	36
基金残高合計		1,232	2,218	2,538

令和4年度	岡山県笠岡市
基金全体 (増減理由) 基金全体では前年度から320百万円の増となっている。対象事業の実施によりふるさと笠岡思民基金や中山間ふるさと・水と土保全対策事業基金等が取崩額が積立額よりも多くなったが、財政調整基金及び公共施設整備費引当基金へ多額の積立を行ったことにより基金残高は大幅に増加した。 (今後の方針) ふるさと納税の推進により思民基金の増額に努めるとともに、将来負担の軽減のため債務の抑制を図り、財政調整基金を目標の20億円に近づける。	
財政調整基金 (増減理由) 令和3年度決算剰余等により452百万円を積み立てたことによる。(同年度での取崩：138百万円) (今後の方針) 目標額である20億円に到達すべく、これまで同様に決算剰余金の半分以上を財政調整基金へ積み立てるとともに、毎年の予算編成の中で自主財源の確保や経費の削減などにより一層注力し、取崩額を抑えるよう努める。	
減債基金 (増減理由) 利子積立のみの増額。 (今後の方針) 令和3年度において令和3年度借入の臨時財政対策債の元金償還のために基金への積立を行っていることから、当該臨時財政対策債の償還に合わせて基金の取り崩しを行う。	
その他特定目的基金 (基金の使途) ふるさと笠岡思民基金：寄附金を財源として寄附者の思いを具体的に事業に生かし、笠岡市の活力ある福祉都市実現に資することを目的とする。 公共施設整備引当基金：公共施設の長寿命化や更新を計画的に行うことを目的とする。 退職手当準備基金：退職手当の平準化を図る。 藤井育英会奨学基金：基金を原資として奨学資金給付事業を行う。 中山間ふるさと・水と土保全対策事業基金：中山間地域等の土地改良施設並びに地域資源の多面的利活用を通じて、地域の環境保全及び地域活動の発展を図る。 (増減理由) ふるさと笠岡思民基金活用事業の実施により242百万円を取り崩したことによる。(同年度での積立：150百万円) 公共施設整備費引当基金へ59百万円を積み立てたことによる。(同年度での取崩：0百万円) 退職手当の支払いにおいて、基準より事業費が低かったことにより、20百万円を積み立てたことによる。(同年度での取崩：0百万円) (今後の方針)	